

令和 8 年度

足立区 橋梁長寿命化修繕計画
《令和 7 年度～令和 4 6 年度》



足立区 都市建設部
道路公園整備室 道路整備課
令和 8 年 4 月

目 次

1章 長寿命化修繕計画改定の概要.....	1
1.1 背景.....	1
1.2 インフラ施設の長寿命化を取り巻く近年の動向.....	2
1.3 今回の改定ポイント.....	3
2章 橋梁長寿命化修繕計画改定フロー.....	5
3章 対象橋梁.....	6
4章 対象橋梁の状態把握.....	10
4.1 橋梁点検.....	10
4.2 点検結果.....	10
5章 維持管理方針の設定.....	15
5.1 基本方針.....	15
5.2 検討期間.....	15
5.3 新技術の活用方針.....	16
5.4 集約・撤去の実施方針.....	17
5.5 修繕実施時期の設定.....	18
5.6 修繕方法の設定.....	19
6章 事業計画.....	20
6.1 短期事業計画.....	21
6.2 中期事業計画・事業費の評価.....	22
6.3 健全性の比較による効果.....	23
7章 終わりに.....	24

1章 長寿命化修繕計画改定の概要

1.1 背景

足立区では、平成23年度に予防保全型の考え方を取り入れた「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、令和3年度には社会状況や、直近の点検結果等を踏まえた計画改定を行い、主要な橋梁29橋について計画的な補修を進めてきました。

一方、近年では、老朽化したインフラの影響が社会問題となっており、より一層の予防保全と計画的な維持管理が求められています。

そこで、これまで本計画の対象外としていた水路に架かる比較的小規模な橋梁についても今後、老朽化する橋梁が増えていくため、計画的な維持管理を実施していくこととしました。

また、足立区と周辺自治体に架かる他自治体管理橋梁についても、今後、架け替え等が見込まれていることから、補助制度の活用を含めた歳入の拡充を図る必要があります。

これらを踏まえ、本計画では対象橋梁をこれまでの橋から72橋に増やし、直近の国の要領や区が実施した点検結果を反映したうえで、引き続き予防保全の考え方にに基づき、計画的かつ効率的な橋梁の維持管理を行っていく方針で、本計画の改定をします。

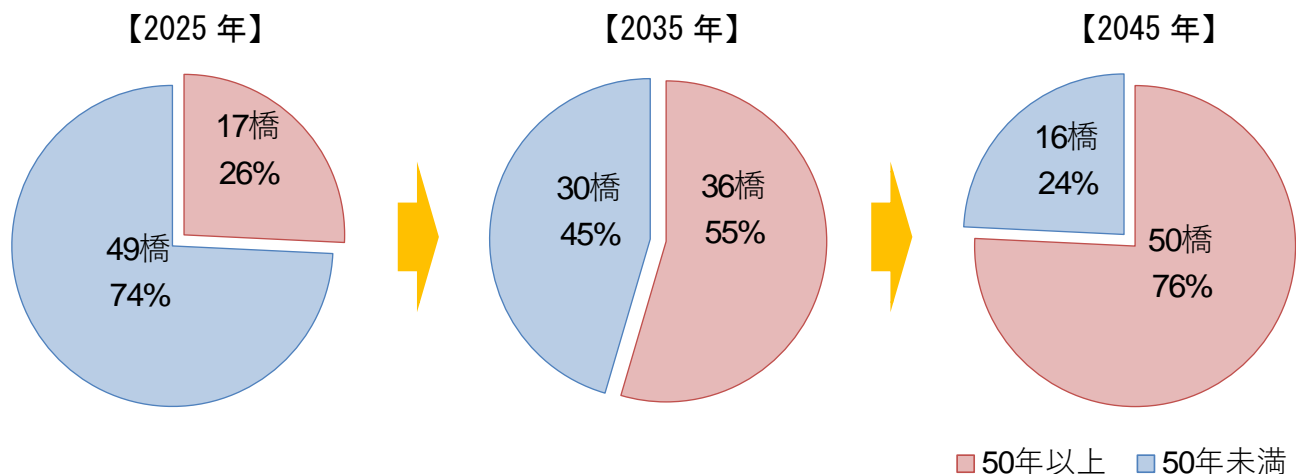


図 1 高齢化する橋梁数（足立区管理の橋梁66橋）

1.2 インフラ施設の長寿命化を取り巻く近年の動向

インフラに関する全国的な動向と、区を取り組みを表 1 に示します。

表 1 国の動向と区取り組み

年	取組主体	取組内容
平成 24 年	区	足立区橋梁長寿命化修繕計画策定
平成 25 年	国	「インフラ長寿命化基本計画」策定。地方公共団体に以下 2 点を要請 ①「行動計画」(インフラ全体の維持管理を進めるための方針)の策定 ②「個別施設計画」(施設の種類に応じた具体の対応方針)の策定
平成 26 年	国	道路法施行規則改正 ① 5 年に 1 度の橋梁の点検実施を義務化 ② 橋梁の状態を 4 段階の健全性で評価することを定義
平成 28 年	国	「個別施設計画の策定要領」を作成 計画策定時に以下を盛り込むよう各地方公共団体に通知。 ① 施設ごとに重要度を設定 ② 修繕の優先順位の考え方を設定
平成 29 年	区	足立区公共施設等総合管理計画(行動計画)策定 インフラ維持管理方針を以下のとおり設定。 ① 施設適正配置の検討 ② ライフサイクルコストを意識 ③ 資産の有効活用を検討
令和 元年	区	足立区橋梁更新基本計画(個別施設計画)策定
令和 3 年	区	足立区橋梁長寿命化修繕計画を改定
令和 7 年	区	足立区公共施設等総合管理計画(行動計画)の策定と改定

1.3 今回の改定ポイント

国の要領等、最新情報の反映により橋梁の維持管理効率を向上
(令和6年度 道路メンテナンス補助要綱の内容を反映)

【計画改定のポイント】

ポイント①
対象橋梁の拡大

補助制度の更なる活用のため、水路に架かる橋梁等38橋と、近接自治体管理橋梁5橋を新たに対象橋梁としました。
※ 対象橋梁を29橋から72橋に拡大

ポイント②
**国の道路メンテナンス補助要綱
の改定内容の反映**

新技術等の活用及び橋梁の集約・撤去の検討を行い、費用の縮減や事業の効率化に取り組みます。

ポイント③
**直近の点検結果に基づく、橋梁
補修スケジュールの見直し**

直近の点検結果を反映した劣化予測を実施し、修繕計画を見直します。

図 2 計画改定の目的と改定のポイント

本計画改定にあたり、反映する上位計画との関係性は図 3 に示す通りです。

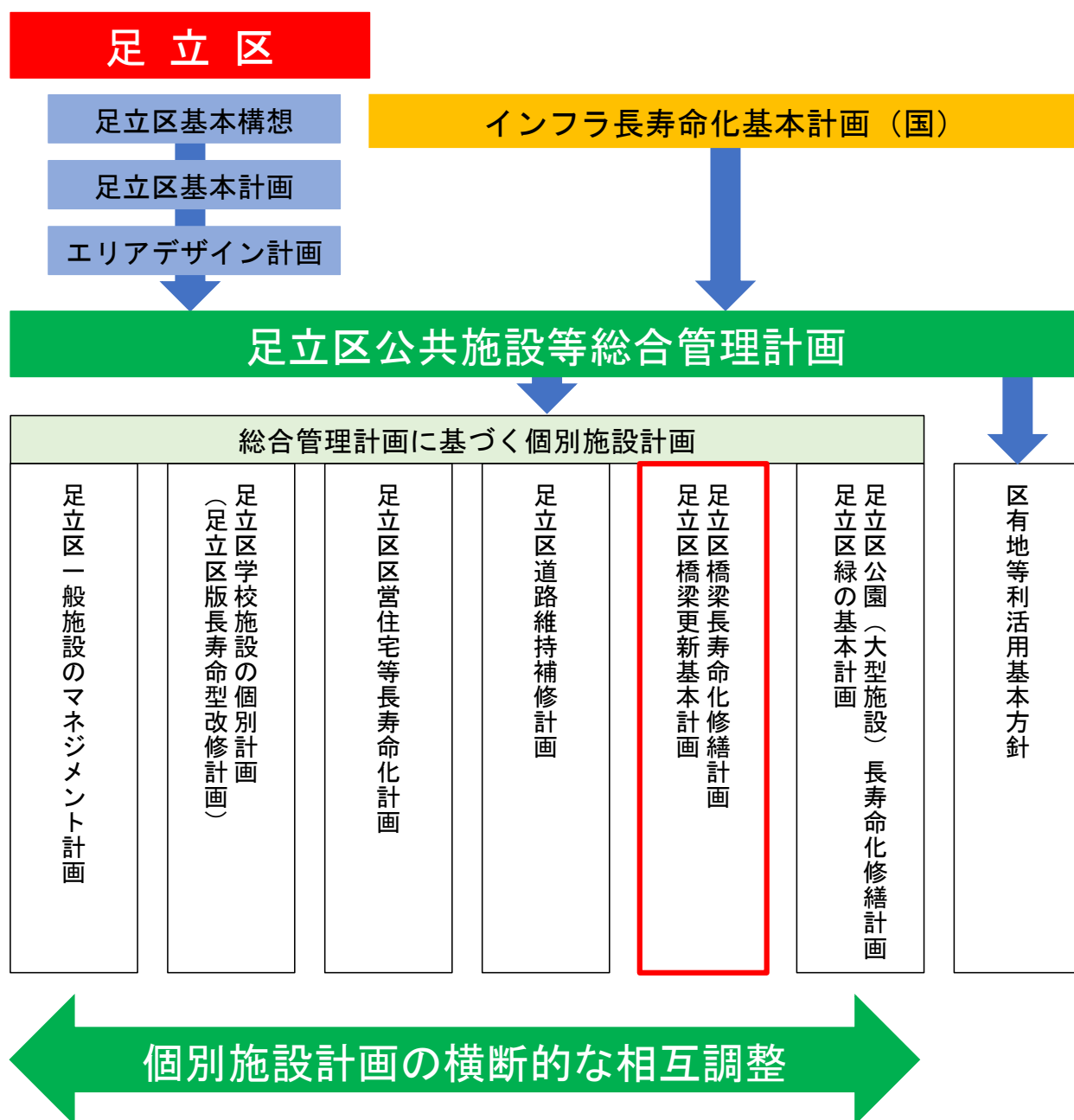


図 3 足立区におけるインフラ長寿命化基本計画の体系¹

¹ 足立区公共施設等総合管理計画 (令和 7 年度～令和 18 年度), 資産活用公共施設マネジメント推進課, 令和 7 年 4 月発行

2章 橋梁長寿命化修繕計画改定フロー

本計画改定の流れは以下に示す通りです。

(1) 対象橋梁を設定する。



(2) 最新の点検結果から対象橋梁の状態を把握する。



(3) 維持管理方針を設定する。

- 1) 点検結果を踏まえ、橋梁毎に修繕が必要となる時期を設定
- 2) 損傷の発生個所（部材）に合わせた修繕方法を設定
- 3) 修繕における活用可能な新技術を検討

修繕方法例：損傷個所が主桁の場合

損傷内容	修繕方法
腐食	再塗装



(4) 修繕計画（中長期・短期事業計画）を作成する。

対象橋梁に対して中長期事業計画と短期事業計画を作成

- 1) 中長期事業計画：今後40年間に必要な維持管理経費を計算

※ 40年間としたのは上位計画である「足立区公共施設等総合管理計画」の予算上の対象期間が、40年後の2064年度末までのため。

- 2) 短期事業計画：今後10年間に必要な維持管理経費を計算

長寿命化修繕計画改定の効果を検証（健全性の推移、維持管理費の評価）

図 4 本計画の策定フロー

3章 対象橋梁

本計画は、足立区管理の橋梁66橋と、東京都管理の「砂小橋」「舎人橋」「大鷲さくら橋」と北区管理橋梁の「新田橋（隅田川）」、草加市管理橋梁の「里人やすらぎ橋」「伝右大橋」の6橋を計画対象橋梁とします。

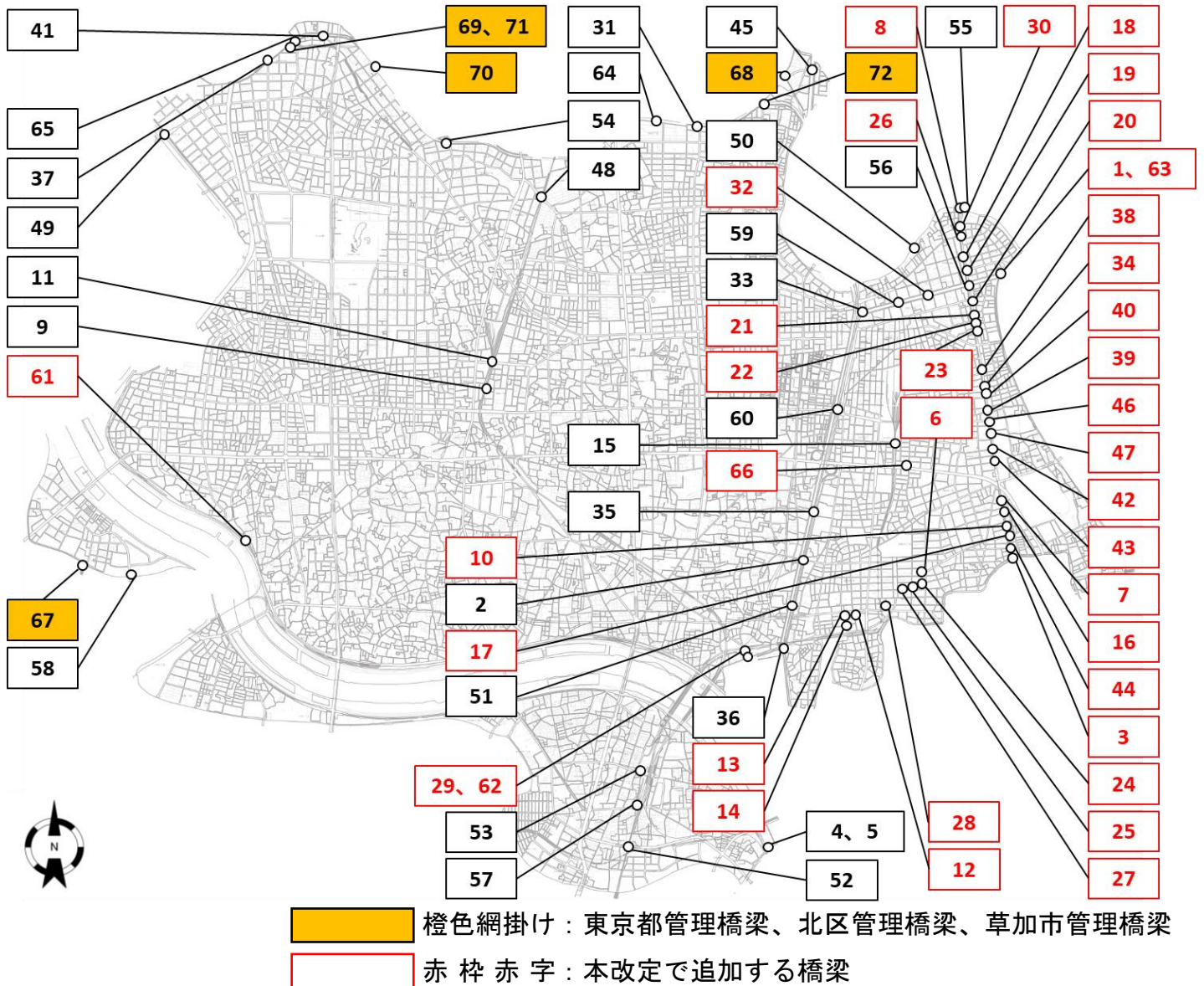


図 5 橋梁位置図（全72橋）

表 2 対象橋梁一覧 (1/3)

No	橋名	建設年次	橋長(m)	幅員(m)	橋の区分	橋の種類
1	花見橋	1926	9.8	6.1	RC 橋	車道橋
2	綾瀬新橋	1929	33.5	10.2	鋼橋	車道橋
3	北三谷橋	1959	3.4	—	RC 橋	車道橋
4	堀切駅跨線人道橋	1968	12.2	2.0	鋼橋	立体横断施設
5	堀切 2 号橋	1968	24.7	1.9	鋼橋	人道橋
6	横道橋	1971	3.7	12.2	RC 橋	車道橋
7	<small>よしみ</small> 誼橋	1971	6.6	18.8	BC 橋	車道橋
8	<small>ひきいれすいもん</small> 引入水門橋	1971	5.5	5.6	BC 橋	車道橋
9	西新井駅竹ノ塚駅間跨線人道橋	1973	22.3	2.4	鋼橋	立体横断施設
10	蒲原第二橋	1973	6.1	18.9	BC 橋	車道橋
11	栗六陸橋	1974	164.5	13.0	鋼橋	車道橋
12	橋本橋	1974	3.6	4.0	RC 橋	車道橋
13	円心橋	1974	4.0	17.2	RC 橋	車道橋
14	四丁田橋	1974	6.2	12.7	RC 橋	車道橋
15	千代田線車庫入口歩道橋	1975	25.0	1.9	鋼橋	立体横断施設
16	蒲原橋	1975	6.4	20.7	BC 橋	車道橋
17	<small>いかりふせごし</small> 碓伏越橋	1975	5.6	35.5	BC 橋	車道橋
18	<small>ねごう</small> 根郷橋	1976	7.3	8.4	BC 橋	車道橋
19	新中之橋	1976	7.2	11.3	BC 橋	車道橋
20	新広橋	1976	5.8	20.0	BC 橋	車道橋
21	新田橋 (葛西用水)	1976	5.8	16.3	BC 橋	車道橋
22	新六木橋	1976	5.0	18.4	BC 橋	車道橋
23	境橋	1976	5.9	15.5	BC 橋	車道橋
24	<small>うちどけ</small> 内戸越橋	1977	3.7	5.1	RC 橋	車道橋
25	下河原橋	1977	4.0	9.2	RC 橋	車道橋
26	上耕地橋	1978	7.3	10.2	BC 橋	車道橋
27	種田橋	1979	3.9	11.9	RC 橋	車道橋
28	<small>たかいり</small> 高塚橋	1980	4.6	12.4	RC 橋	車道橋
29	沼田橋	1981	3.6	9.9	BC 橋	車道橋

並び順は「建設年次」が古い順で、**赤字**は本改定で追加する橋梁です。

表 3 対象橋梁一覧 (2/3)

No	橋名	建設年次	橋長(m)	幅員(m)	橋の区分	橋の種類
30	<small>かみの</small> 上之橋 (葛西用水上流)	1982	8.4	28.4	BC 橋	車道橋
31	花畑大橋	1983	31.4	15.8	PC 橋	車道橋
32	富士見歩道橋(架け替え予定)	1983	25.8	3.8	鋼橋	人道橋
33	月見橋 (車)	1984	16.2	7.9	鋼橋	車道橋
	月見橋 (歩)	1984	20.6	3.4	PC 橋	人道橋
34	東湊江橋	1984	8.2	19.4	BC 橋	車道橋
35	みどり歩道橋	1985	75.4	2.7	鋼橋	人道橋
36	<small>いとうや</small> 伊藤谷橋	1985	37.3	9.5	鋼橋	車道橋
37	<small>しんしゃごじ</small> 新砂子路橋	1986	16.0	17.0	PC 橋	車道橋
38	<small>しもの</small> 下之橋	1987	4.6	19.0	BC 橋	車道橋
39	<small>かみの</small> 上之橋 (葛西用水下流)	1987	7.8	16.7	BC 橋	車道橋
40	貝瀬橋	1988	6.2	13.6	BC 橋	車道橋
41	ふれあい橋	1989	24.8	2.8	PC 橋	人道橋
42	湊江橋	1989	5.5	24.5	BC 橋	車道橋
43	宝橋	1989	5.8	24.6	BC 橋	車道橋
44	第六天橋	1989	5.2	31.0	BC 橋	車道橋
45	桑袋大橋	1990	43.7	16.0	PC 橋	車道橋
46	堤田橋	1990	5.8	10.2	BC 橋	車道橋
47	かっぱ橋	1990	5.8	35.7	BC 橋	車道橋
48	せせらぎ歩道橋	1991	20.9	2.9	鋼橋	立体横断施設
49	入谷大橋	1992	94.6	16.8	鋼橋	車道橋
50	平成泉橋	1993	24.0	5.8~ 10.0	鋼橋	人道橋
51	<small>ごへえ</small> 五兵衛橋	1997	38.3	4.0	鋼橋	人道橋
52	やっちゃんば人道橋	1999	15.7	2.3	鋼橋	立体横断施設
53	北千住西口ペDESTリアンデッキ	2004	—	—	鋼橋	立体横断施設
54	毛長橋	2005	31.8	12.8	鋼橋	車道橋
55	ふれあい桜橋	2005	34.6	16.8	PC 橋	車道橋
56	桜木橋	2005	11.7	16.8	PC 橋	車道橋

並び順は「建設年次」が古い順で、赤数字は本改定で追加する橋梁です。

表 4 対象橋梁一覧 (3/3)

No	橋名	建設年次	橋長(m)	幅員(m)	橋の区分 ※1, 2, 3	橋の種類
57	北千住駅構内跨線人道橋	2005	29.7	2.4	鋼橋	立体横断施設
58	新豊橋	2007	105.0	22	鋼橋	車道橋
59	雪見橋	2011	10.6	12.8	PC 橋	車道橋
60	六町加平橋	2011	51.0	16.0	鋼橋	車道橋
61	熊の木橋	2011	6.8	2.7	RC 橋	人道橋
62	新古川橋	2011	6.2	12.7	BC 橋	人道橋
63	花見人道橋	2011	26.5	2.6	鋼橋	人道橋
64	花瀬橋	2021	32.7	4.0	鋼橋	人道橋
65	一本橋	2024	8.9	9.6	PC 橋	車道橋
66	北綾瀬ペDESTリアンデッキ	2025	—	—	鋼橋	立体横断施設
67	新田橋 (隅田川)	北区管理橋梁				
68	<small>でんう</small> 伝右大橋	草加市管理橋梁				
69	<small>すなこ</small> 砂小橋	東京都管理橋梁				
70	<small>さとびと</small> 里人やすらぎ橋	草加市管理橋梁				
71	<small>とねり</small> 舎人橋	東京都管理橋梁				
72	<small>おおとり</small> 大鷲さくら橋	東京都管理橋梁				

並び順は「建設年次」が古い順で、赤数字は本改定で追加する橋梁です。

※1 BC 橋 (ボックスカルバート橋)

コンクリート橋のうち、箱状で内側に空洞がある橋梁。

空洞部分の水路や道路と、箱状の上部の道路が交差するために用いられる。

※2 RC 橋 (鉄筋コンクリート橋)

コンクリート橋のうち、鉄筋とコンクリートで造られた橋梁。

5 m 程度の短い距離の橋に用いられる。

※3 PC 橋 (プレストレストコンクリート橋)

コンクリート橋のうち、製作時にあらかじめコンクリートの強度を上げることで、5 m ~ 20 m 程度、構造によってはそれ以上の長い距離の橋梁に用いられる。

4章 対象橋梁の状態把握

4.1 橋梁点検

足立区は、国の基準に準拠し5年に1回の定期点検と日常点検を実施しています。

4.2 点検結果

直近の点検は令和3年度～令和5年度に実施しました。その点検結果を橋梁種別ごとに整理したものを図6に、部材ごとに整理したものを表6～表8に示します。橋梁の健全性は平成31年度に改定された橋梁定期点検要領に基づき、Ⅰ～Ⅳに区分して評価しています。

令和7年度現在、橋梁の健全性は、健全性Ⅰが17橋（26%）、予防保全および早期に措置が望まれる健全性Ⅱが42橋（65%）です。また、早期に措置を講ずべき健全性Ⅲは、6橋（9%）です。

表5 健全性の状態

区分		状態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

出典：道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）

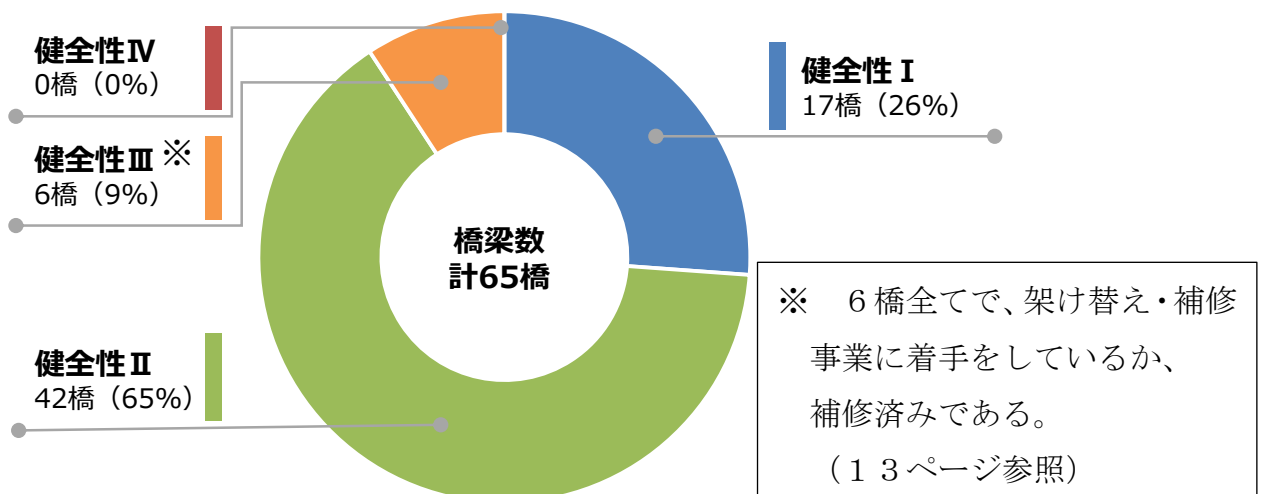


図6 橋梁の健全性の割合（令和7年度現在）

表 6 健全性一覧表 (1/3)

橋梁名	点検年	橋全体	部材単位					
		総合	主桁	床版	橋台	橋脚	支承	伸縮装置
蒲原第二橋	2021	I	I	I	I	—	II	—
四丁田橋	2021	I	I	I	I	—	II	—
新広橋	2021	I	—	—	I	—	—	—
<small>かみの</small> 上之橋（葛西用水上流）	2021	I	I	I	I	—	—	—
花畑大橋	2024	I	I	I	I	—	I	I
<small>しんしゃごじ</small> 新砂子路橋	2022	I	I	I	I	—	I	I
<small>かみの</small> 上之橋（葛西用水下流）	2021	I	I	—	I	—	—	—
第六天橋	2021	I	—	—	—	—	—	—
堤田橋	2021	I	I	—	I	—	—	—
毛長橋	2022	I	I	I	I	—	I	II
ふれあい桜橋	2023	I	I	I	I	—	I	I
桜木橋	2022	I	I	I	I	—	I	II
雪見橋	2023	I	I	I	I	—	I	—
六町加平橋	2024	I	I	I	I	—	I	I
熊の木橋	2021	I	I	—	—	—	—	—
花見人道橋	2021	I	I	I	I	—	I	I
花瀬橋	2023	I	I	I	I	—	I	I
北三谷橋	2021	II	I	—	II	—	I	—
堀切 2 号橋	2022	II	II	II	I	I	I	I
横道橋	2021	II	II	—	II	—	I	—
<small>よしみ</small> 誼橋	2021	II	II	—	I	—	—	—
<small>ひきいれすいもん</small> 引入水門橋	2021	II	II	—	I	—	—	—
西新井駅竹ノ塚駅間跨線人道橋	2022	II	II	II	II	II	I	—
栗六陸橋	2023	II	II	II	II	II	II	II
橋本橋	2021	II	II	I	II	—	I	—
円心橋	2021	II	II	I	II	—	III	—
千代田線車庫入口歩道橋	2023	II	I	I	I	I	I	I
<small>いかりふせこし</small> 碓伏越橋	2021	II	II	—	I	—	—	—

健全性ごとの橋梁の並び順は「建設年次」が古い順です。

表 7 健全性一覧表 (2/3)

橋梁名	点検年	橋全体	部材単位					
		総合	主桁	床版	橋台	橋脚	支承	伸縮装置
<small>ねごう</small> 根郷橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	—	—	—
新中之橋	2021	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	—	Ⅰ	—
新田橋 (葛西用水)	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	—	—	—	—
新六木橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	—	—	—	—
境橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	—	—	—	—
<small>うちどけ</small> 内戸越橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	—	Ⅲ	—
下河原橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	—	Ⅰ	—
上耕地橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	—	—	—
種田橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	—	Ⅰ	—
<small>たかいの</small> 高塚橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	—	Ⅰ	—
月見橋 (車)	2023	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	Ⅰ
月見橋 (歩)	2023	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ
東湊江橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	—	—	—
みどり歩道橋	2022	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ
<small>いとうや</small> 伊藤谷橋	2023	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	Ⅰ
<small>しもの</small> 下之橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	—	—	—	—
貝瀬橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	—	—	—
ふれあい橋	2023	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	—	Ⅰ	Ⅰ
湊江橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	—	—	—	—
宝橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	—	—	—	—
桑袋大橋	2023	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ
かっぱ橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅱ	—	—	—
せせらぎ歩道橋	2023	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
入谷大橋	2024	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
平成泉橋	2023	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	—	Ⅰ	Ⅰ
<small>ごへえ</small> 五兵衛橋	2023	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
やっちゃんば人道橋	2024	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	—	Ⅰ	Ⅰ

健全性ごとの橋梁の並び順は「建設年次」が古い順です。

表 8 健全性一覧表 (3/3)

橋梁名	点検年	橋全体	部材単位					
		総合	主桁	床版	橋台	橋脚	支承	伸縮装置
北千住駅西口ペDESTリアンデッキ	2023	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	—	Ⅱ
北千住駅構内跨線人道橋	2022	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	—
新豊橋	2024	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	—	Ⅰ	Ⅰ
新古川橋	2021	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	—	—	—
花見橋	2021	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	—	Ⅰ	—
綾瀬新橋	2022	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ
堀切駅跨線人道橋	2022	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	—
蒲原橋	2021	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	—	Ⅱ	—
沼田橋	2021	Ⅲ	Ⅱ	—	Ⅲ	—	—	—
富士見歩道橋（架け替え予定）	2021	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	—	Ⅰ	Ⅱ
一本橋	—	架け替え直後のため点検結果なし						
北綾瀬ペDESTリアンデッキ	—	新設直後のため点検結果なし						
<p>【備考】 健全度Ⅲの橋梁の事業状況</p> <p>綾瀬新橋 東京都において架け替え事業中</p> <p>沼田橋 令和8年度 補修予定（足立区）</p> <p>蒲原橋 令和8年度 補修予定（足立区）</p> <p>堀切駅跨線人道橋 令和7年度 補修完了（足立区）</p> <p>富士見歩道橋 足立区において架け替え事業中</p> <p>花見橋 令和6年度 補修完了（足立区）</p>								

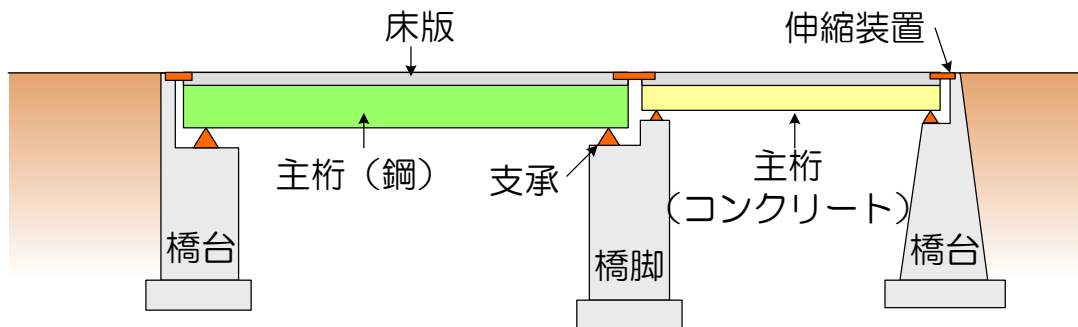
健全性ごとの橋梁の並び順は「建設年次」が古い順です。

表 9 部材の説明

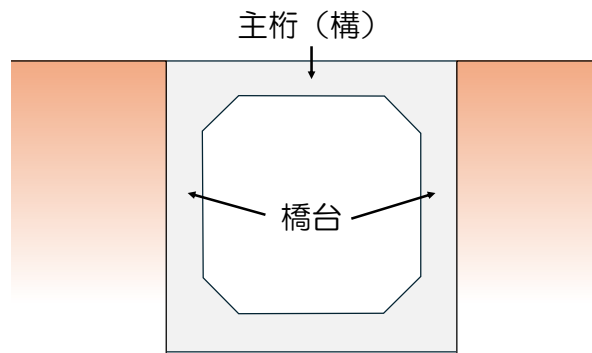
部材	説明
主桁	上部構造全体の荷重を支持して下部構造に伝える部材
床版	橋梁を通る車等の荷重を主桁に伝える部材
橋台	橋梁の両端にあり、上部構造を支える部材
橋脚	2 径間以上の橋梁の中間部にあり、上部構造を支える部材
支承	上部構造の荷重を下部構造に伝達するための部材
伸縮装置	主桁と橋台の継ぎ目に設置される部材（主桁の温度変化による伸縮に追従する）

橋梁の概要

橋梁（鋼橋、PC 橋（プレストレストコンクリート橋）、RC 橋（鉄筋コンクリート橋））



コンクリート橋のうち、BC 橋（ボックスカルバート橋）



5章 維持管理方針の設定

5.1 基本方針

足立区における橋梁の維持管理は、全橋に対して予防保全による管理（原則、健全性Ⅱの段階で補修）を行い、橋梁の長寿命化を図ることを基本としています。本計画でも引き続き、予防保全による管理を実施した場合の、長期的なライフサイクルコスト（以下、LCC という。）の縮減効果検証を行います。

事後保全型	予防保全型	予防保全型（新技術等込）
<ul style="list-style-type: none">● 損傷や劣化が著しいため、大規模修繕や架替が必要となる。● 機能を保持するための維持管理費用が大きくなる。● 突発的な要因により、予算不足で対応できなくなる。	<ul style="list-style-type: none">● 長寿命化を図ることができる。● 維持管理費を平準化できる。● LCCを抑制できる。	<ul style="list-style-type: none">● 長寿命化を図ることができる。● 維持管理費を平準化できる。● LCCを抑制できる。● 作業人員の削減ができる。● 修繕回数が低減できる。

図 7 橋梁長寿命化修繕計画の目的と方針

5.2 検討期間

検討期間は、上位計画の足立区公共施設等総合管理計画と同じく、令和7年度（2025年）から令和46年度（2064年）までの40年間とします。

5.3 新技術の活用方針

橋梁の点検や補修においては、国の NETIS（新技術情報提供システム）などの最新の動向を注視し、費用面、作業効率の面、補修効果の面などから総合的に検討を行い、本計画期間の40年間での費用を合計した結果、一番安価でかつ橋梁が健全な状態を確保できる工法を選定していきます。

表 10 新技術の例（NETIS より）

	従来	新技術
点検方法	【水路橋38橋】 近接目視（人が水路内に侵入して点検を実施）	【水路橋38橋】 水中ドローンを用いた点検
費用	20,000千円	11,000千円
作業効果・比較	狭い空間で酸素ポンペを担いで点検を実施	進入が難しい矮小箇所を安全かつ迅速に調査可能



9,000千円の削減を目指します。

5.4 集約・撤去の検討方針

以下のとおり、国の「道路橋等の集約・撤去事例集」に基づいて集約・撤去の検討条件を整理した結果、現状区内に集約※・撤去が必要な橋梁はありません。

(1) 撤去検討条件（道路橋等の集約・撤去事例集より）

以下の撤去検討条件に該当する場合は、集約・撤去について検討します。

【撤去検討条件】（道路橋等の集約・撤去事例集より）

- ① 利用者が少ない（約 100 人未満/12h）
- ② 代替路が近い（人道橋：約 100m 以内、車道橋：約 2km 以内）
- ③ 健全性がⅢもしくはⅣ
- ④ 交通管理者、地元自治会の理解（合意）

(2) 今後の進め方

当計画においては集約・撤去の抽出はありませんが、今後、利用者数の減少などにより、国の定める撤去検討条件に該当した場合には、維持管理費や地元住民の意見を踏まえながら、適切な橋梁の維持管理に努めます。

※ 近くにある複数の老朽化した橋梁を統合し、機能統一を図る取り組み

5.5 修繕実施時期の設定

最新の点検結果から、全ての橋梁の健全性の推移を予測します。

予防保全による修繕は事後保全による大規模修繕と比較し、補修回数は多くなりますが、トータルコストを比較すると、予算を大きく削減できます。

そのため、対象橋梁の目標とする健全度は、原則健全性が「Ⅲに至る直前のⅡ」に設定いたします。

また、修繕の際に新技術を活用することで更なる予算削減、補修回数の低減が期待できるため、随時検討します。

図9に健全性の推移の予測を示しております。

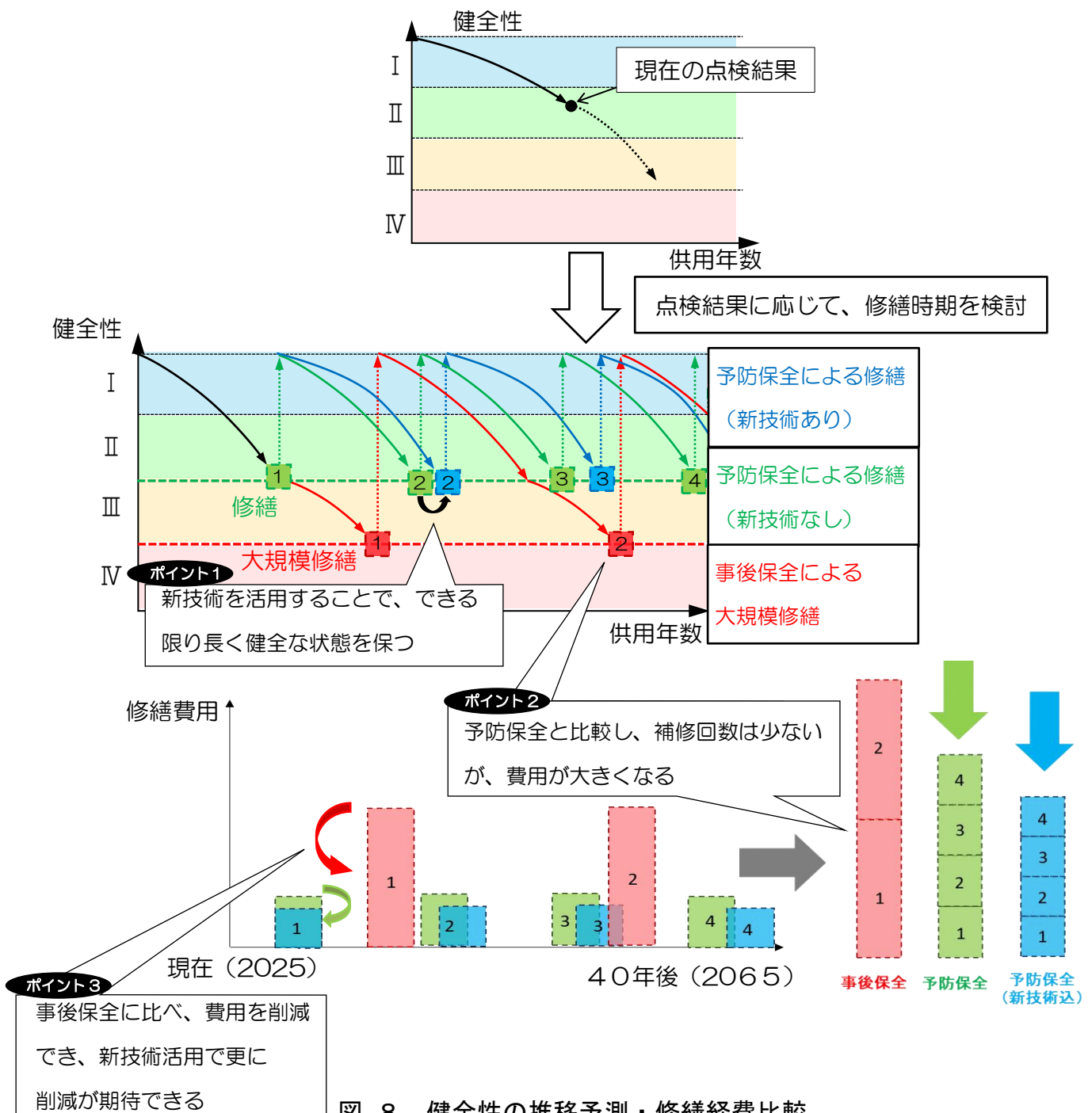


図 8 健全性の推移予測・修繕経費比較

5.6 修繕方法の設定

修繕方法は損傷の発生個所（部材）に合わせて図 9 のとおりとし、補修設計のなかで、適切な工法を選定します。

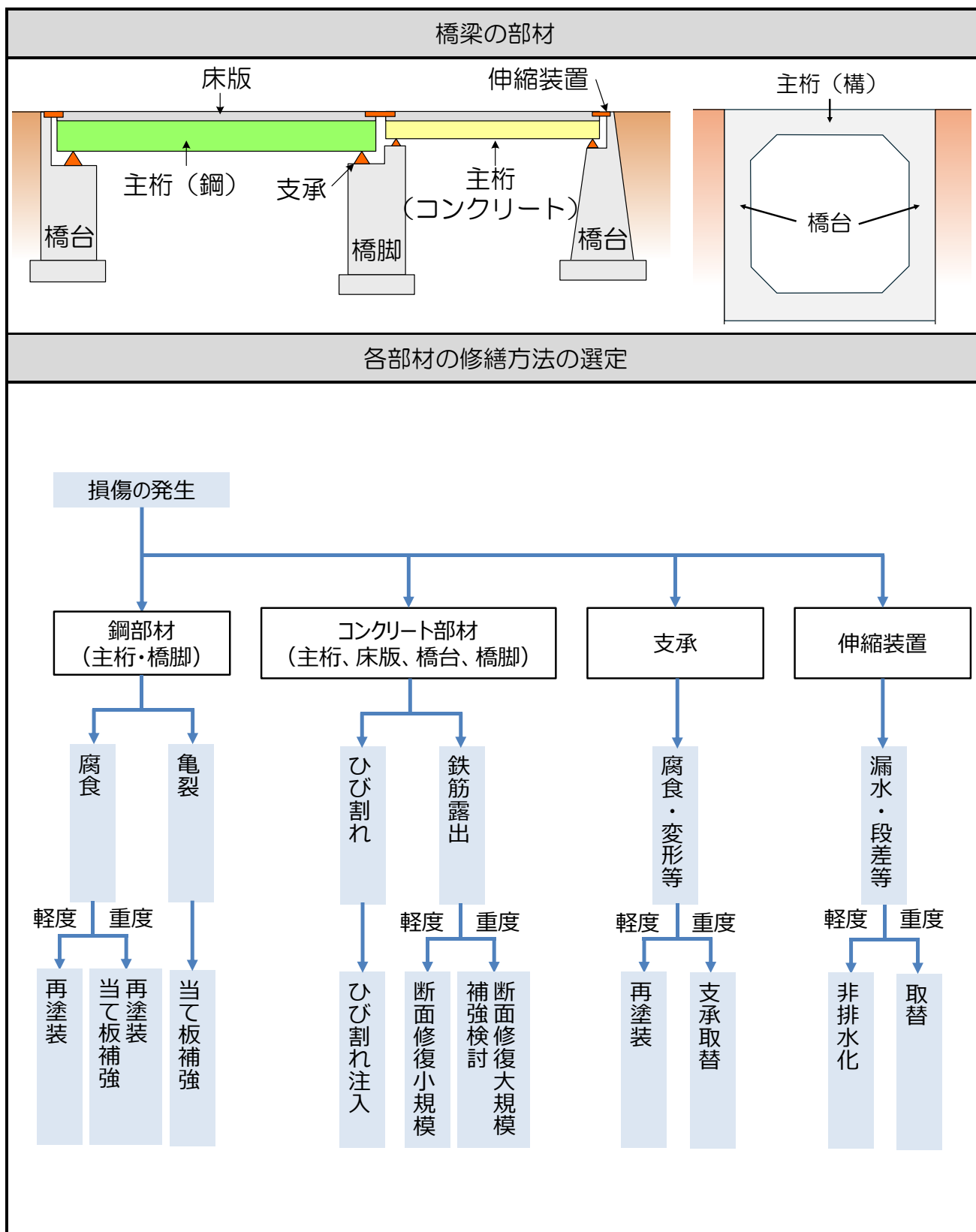


図 9 各部材の修繕方法の選定フロー

6章 事業計画

6.1 短期事業計画

短期事業計画として、直近の点検結果を基に、各橋梁の部材ごとの劣化状況を予測し、直近10年間のスケジュールを作成しました。

表 1 1 短期事業計画表 (1/2)

△：点検 ●：補修 ★：更新

橋梁名称	種別	橋梁形式	健全性	事業計画									
				2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
蒲原第二橋	車道橋	BC橋	I	△						△			
四丁田橋	車道橋	RC橋	I	△						△			
新広橋	車道橋	BC橋	I	△						△			
上之橋 (葛西用水上流)	車道橋	BC橋	I	△						△			
花畑大橋	車道橋	PC橋	I		△						△●		
新砂子路橋	車道橋	PC橋	I		△						△		
上之橋 (葛西用水下流)	車道橋	BC橋	I	△						△			
第六天橋	車道橋	BC橋	I	△						△			
堤田橋	車道橋	BC橋	I	△						△			
毛長橋	車道橋	鋼橋	I		△						△		
ふれあい桜橋	車道橋	PC橋	I		△						△		●
桜木橋	車道橋	PC橋	I		△						△	●	
雪見橋	車道橋	PC橋	I		△						△		●
六町加平橋	車道橋	鋼橋	I		△					●	△		
熊の木橋	人道橋	RC橋	I	△						△			
花見人道橋	人道橋	鋼橋	I		△						△		
花瀬橋	人道橋	鋼橋	I		△						△		
北三谷橋	車道橋	RC橋	II	△	●					△			
堀切2号橋	人道橋	鋼橋	II		△						△★	★	★
横道橋	車道橋	RC橋	II	△	●					△			
誼橋	車道橋	BC橋	II	△		●				△			
引入水門橋	車道橋	BC橋	II	△			●			△			
西新井駅竹ノ塚駅間跨線人道橋	立体横断施設	鋼橋	II		△						△		
栗六陸橋	車道橋	鋼橋	II		△						△		
橋本橋	車道橋	RC橋	II	△	●					△			
円心橋	車道橋	RC橋	II	△	●					△			
千代田線車庫入口歩道橋	立体横断施設	鋼橋	II		△						△		
碓伏越橋	車道橋	BC橋	II	△			●			△			
根郷橋	車道橋	BC橋	II	△		●				△			
新中之橋	車道橋	BC橋	II	△		●				△			
新田橋 (葛西用水)	車道橋	BC橋	II	△	●					△			
新六木橋	車道橋	BC橋	II	△	●					△			
境橋	車道橋	BC橋	II	△	●					△			
内戸越橋	車道橋	RC橋	II	△	●					△			

健全性ごとの橋梁の並び順は「建設年次」が古い順です。

表 1 2 短期事業計画表 (2/2)

△：点検 ●：補修 ★：更新

橋梁名称	種別	橋梁形式	健全性	事業計画										
				2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034		
下河原橋	車道橋	RC橋	Ⅱ	△			●		△					
上耕地橋	車道橋	BC橋	Ⅱ	△			●		△					
種田橋	車道橋	RC橋	Ⅱ	△			●		△					
高塚橋	車道橋	RC橋	Ⅱ	△	●				△					
月見橋 (車)	車道橋	鋼橋	Ⅱ		△				●	△				
月見橋 (歩)	人道橋	PC橋	Ⅱ		△					△			●	
東湧江橋	車道橋	BC橋	Ⅱ	△			●		△					
みどり歩道橋	人道橋	鋼橋	Ⅱ		△				●	△				
伊藤谷橋	車道橋	鋼橋	Ⅱ		△					△				
下之橋	車道橋	BC橋	Ⅱ	△	●				△					
貝瀬橋	車道橋	BC橋	Ⅱ	△			●		△					
ふれあい橋	人道橋	PC橋	Ⅱ	●	△					△				
湧江橋	車道橋	BC橋	Ⅱ	△	●				△					
宝橋	車道橋	BC橋	Ⅱ	△	●				△					
桑袋大橋	車道橋	PC橋	Ⅱ		△					△	●			
かっぱ橋	車道橋	BC橋	Ⅱ	△		●			△					
せせらぎ歩道橋	立体横断施設	鋼橋	Ⅱ		△					△				
入谷大橋	車道橋	鋼橋	Ⅱ		△●					△				
平成泉橋	人道橋	鋼橋	Ⅱ	●	△					△				
五兵衛橋	人道橋	鋼橋	Ⅱ	★	△★					△				
やっちゃんば人道橋	立体横断施設	鋼橋	Ⅱ		△				●	△				
北千住駅西ロベデストリアンデッキ	立体横断施設	鋼橋	Ⅱ		△●					△				
北千住駅構内跨線人道橋	立体横断施設	鋼橋	Ⅱ		△		●			△				
新豊橋	車道橋	鋼橋	Ⅱ		△					△			●	
新古川橋	人道橋	BC橋	Ⅱ	△				●	△					
花見橋	車道橋	RC橋	Ⅲ		△					△				
綾瀬新橋	車道橋	鋼橋	Ⅲ	東京都において架け替え事業中										
堀切駅跨線人道橋	立体横断施設	鋼橋	Ⅲ		△		★	★	★	△				
蒲原橋	車道橋	BC橋	Ⅲ	△●					△					
沼田橋	車道橋	BC橋	Ⅲ	△●					△					
富士見歩道橋	人道橋	鋼橋	Ⅲ	★	△★	★				△				
一本橋	車道橋	PC橋	—	△					△					
北綾瀬ペデストリアンデッキ	立体横断施設	鋼橋	—		△					△				

健全性ごとの橋梁の並び順は「建設年次」が古い順です。

※1 限られた予算の中で円滑に予防保全を実施するにあたり、予算の平準化のため補修時期をずらすなど措置をとる場合があります。

※2 可能な限り補修・補強により延命化を図り、財政面や近隣地域への影響が大きい更新橋梁数を可能な限り少なくなるよう努めます。

6.2 中長期事業計画・事業費の評価

5章から6章までの考え方を踏まえ、計画期間である40年間のスケジュールを組み立て、その累計費用を積み重ねました。

事後保全型が約325億円であるのに対し、予防保全型は約297億円と全体の9%にあたる約28億円の縮減することができました。

また、併せて新技術の活用により、さらに1%の約3億円の縮減が期待できます。

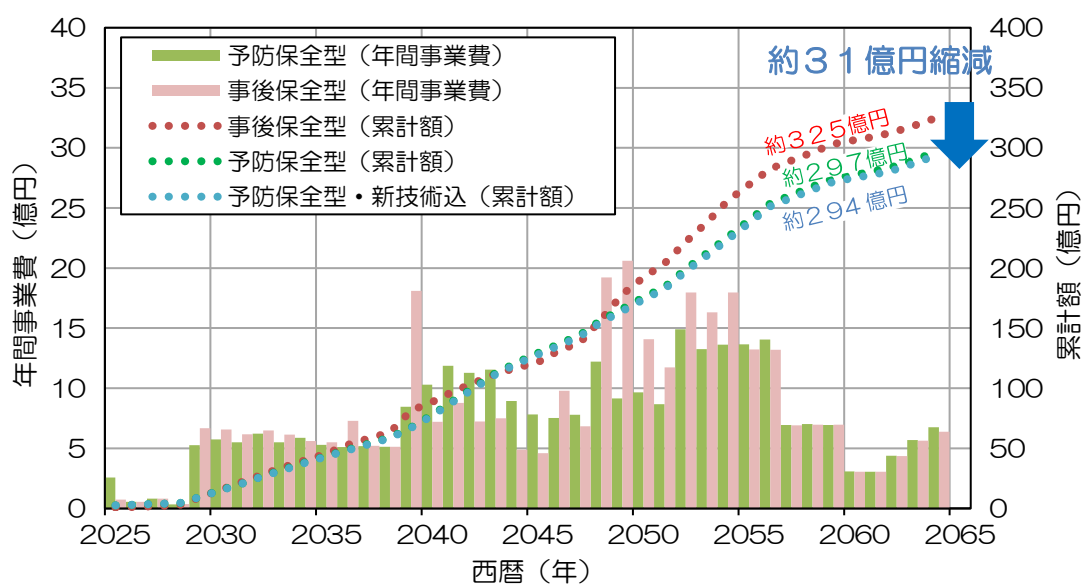


図 10 補修・更新費用累計

6.3 健全性の比較による効果

計画対象橋梁のうち、区管理橋梁 66 橋の健全性の状態を事後保全型管理と比較した結果、予防保全を実施することで、健全性 I、II の橋梁の割合が増え、安全に利用できる状態の橋梁が多くなることがわかりました。

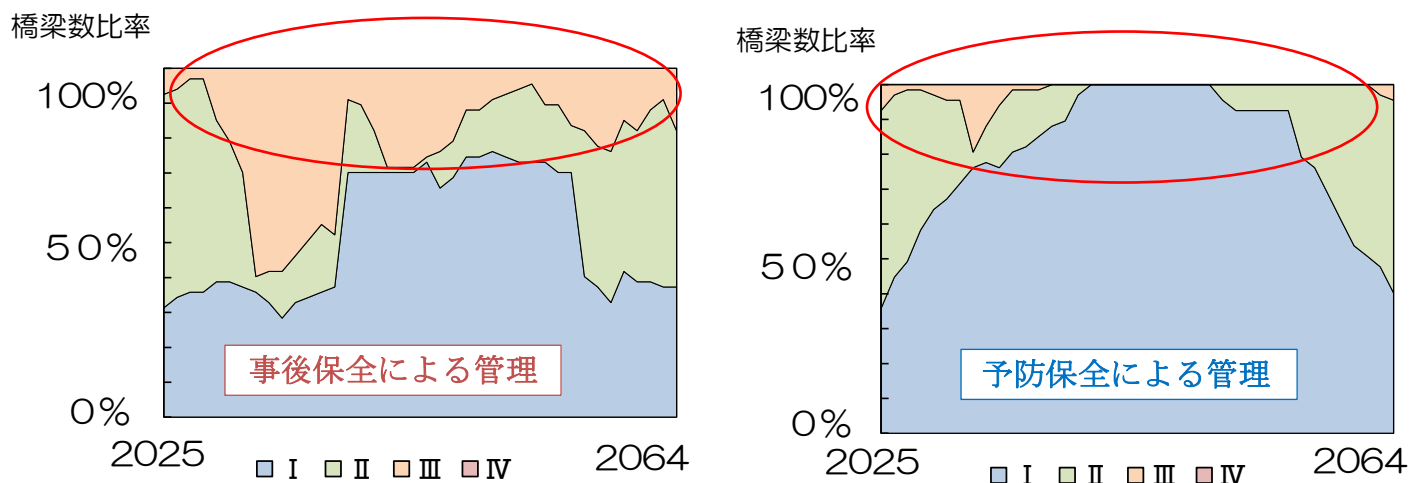


図 11 40年間における健全性の比較

表 13 40年間における健全性区分の割合

	事後保全による管理	予防保全による管理
健全性 I	55%	80%
健全性 II	25%	17%
健全性 III	<u>20%</u>	<u>3%</u>

早期に措置が必要な健全性 III の期間が「事後保全による管理」と比べ、短く、安全に管理できる。

7章 終わりに

国および足立区の最新の要領や計画等、直近の点検結果を踏まえ、橋梁の長寿命化修繕計画を見直しました。その結果、新技術等の導入効果を確認するとともに、維持管理費用の削減を確認することができました。本計画に基づいた橋梁の維持管理・更新を着実に実施していくことで、安全・安心かつ効率的な橋梁の維持管理に努めてまいります。

本計画の策定にあたっては、東京都立大学 大学院 都市環境科学研究科の中村一史教授に技術的なアドバイスをいただきました。

書 名：足立区橋梁長寿命化修繕計画

発行年月日：令和8年4月

発 行：足立区都市建設部道路公園整備室道路整備課